

学長定例記者会見要項

日 時: 平成29年12月21日(木) 11:00~11:45

場 所: 法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

- 1. アイスモンスター(樹氷)の変遷地図(全国版)を作製しました
- 2. 初期の最上義光に関する史料集の再発見
- 3. データ関連人材育成プログラムin山形大学 始動! 「基礎から学ぶBIG DATA解析実習」を開催
- 4. もっと知って! 伝統野菜 「おじいおばぁの郷土飯 雪菜イベントvol.3」
- 5. ~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~「地域人材コース」に採択

お知らせ

- 1. 平成30年度大学入試センター試験の取材について
- 2. 山形大学造形芸術コース グループ絵画展を開催します
- 3. 農学部研究シーズ説明会・ビジネスマッチの開催について

(参 考)

〇 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成30年1月18日(木) 11:00~11:45

場 所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(12月21日)発表者

1. アイスモンスター(樹氷)の変遷地図(全国版)を作製しました

学術研究院 教授(地球化学・環境化学)

やなぎさわ ふみたか 柳澤 文孝

2. 初期の最上義光に関する史料集の再発見

附属博物館

おしの みゆき 押野 美雪

山形大学名誉教授

いとう きょお

3. データ関連人材育成プログラム in 山形大学 始動! 「基礎から学ぶ BIG DATA 解析実習」を開催

理学部長

たまて ひでとし 玉手 英利

4. もっと知って! 伝統野菜 「おじいおばぁの郷土飯 雪菜イベント vol.3 」工学部応用生命システム工学科3年佐藤 謙介

5. ~トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム~「地域人材コース」に採択 教育・学生支援部 国際交流課国際交流室長 今野 浩美



平成29年12月21日 山 形 大 学

アイスモンスター(樹氷)の変遷地図(全国版)を作製しました

地球温暖化によって気温が上昇しており、それに伴って蔵王のアイスモンスター(樹氷)が衰退しているといわれています。今回、日本各地にある(あった)アイスモンスター(樹氷)の変遷地図を作製しました。

● これまでの経緯

地球温暖化によって蔵王のアイスモンスター(樹氷)が衰退(下限高度の上昇・分布域の縮小・期間の短縮・スリム化)しているといわれています。最初に温暖化とアイスモンスター(樹氷)の衰退の関係を指摘したのは理学部物理学科の矢野勝俊教授で、1994年に執筆された「山形県蔵王の気象観測(1)」においてでした。翌1995年には講談社のブルーバックス「検証・ヒトが招いた地球の危機(山形大学地球科学研究会編)」の中の1章として「蔵王の樹氷が温暖化を語る」が発表されています。

柳澤文孝教授は、2012年に1940年代から当時までの蔵王のアイスモンスター(樹氷)の変遷地図を作製しました。蔵王のアイスモンスター(樹氷)の下限高度は、1940年代は1300-1400m、1970年代は1500m、1990年代は1550m、2010年は1600mとなっておりました。

その後、他の地域のアイスモンスター(樹氷)はどうなのか、今後はどうなるのか、桜の開花の際の標準木のような物はあるのか、どこまでが樹氷(エビノシッポ)でどこからがアイスモンスター(樹氷)なのかなどの問い合わせをいただきました。今回、これまでの資料を基に全国にある(あった)アイスモンスター(樹氷)の変遷地図を作製しました。

● アイスモンスター(樹氷)とは何か

アイスモンスターの成因については、雪説(雪が氷となった)と過冷却水滴説(水が氷った)があり、昭和はじめから論争が続けられてきました。1960年代に芝浦工業大学の小笠原和夫教授を中心に「蔵王の樹氷(アイスモンスター)の総合研究」が行われ、樹氷(アイスモンスター)が雪と過冷却水滴の複合体であり、焼結によって雪と氷が分かちがたく一体化して氷となった物であることが明らかとされました。また、1970年代には理学部物理学科の阿部正二朗教授のご研究によって生成条件が求められています。

2014年に出版された日本雪氷学会編の「新版・雪氷辞典」において「アイスモンスターは、亜高山地帯に植生しているアオモリトドマツが着氷と雪片でおおわれて巨大な雪の塊に成長したものをいう。・・・着雪も加わっている点で、過冷却水滴による着氷の一種である樹氷とは異なる。・・・」と説明されています。なお、大きさが何センチ以上とか、塊の数は決まっておりません。

● 樹氷(アイスモンスター)の分布について 樹氷(アイスモンスター)は1914年2月15日に蔵王冬季初登頂した山形高等学校の神山 峯吉教授らによって発見されました。1921年1月8日には慶応大学山岳部の鹿子木員信教授らが峨々温泉から高湯温泉へ厳冬期初踏破しました。この際の紀行文と写真が「登高行」第3年に掲載され樹氷(アイスモンスター)は全国的に有名となりました。その後、各地で樹氷(アイスモンスター)が見つかりました(アイスモンスターだと認識された)。山と渓谷社(2005年)の「日本登山史年表」によりますと、樹氷(アイスモンスター)に関連した山の冬季初登頂は大正後期から昭和はじめかけてとされています。北海道から長野県までのアイスモンスター(樹氷)はこのころ知られたと推定されます。

1940年代から1950年代はじめまでのモノクロ写真に志賀高原の横手山や菅平の根子岳などに樹氷(アイスモンスター)が写っていますが、1950年代後半のカラー写真には写っていません。志賀高原・菅平では1950年代後半には消滅したと考えられます。

小笠原教授は1969年の論文で「樹氷は蔵王だけのものではなく、東北では八幡平や八甲田、北海道ではニセコアンヌブリ・羊蹄山・ムイネ山など・・・。・・北アルプスでは見出されない・・・。」と述べています*。

阿部正二朗教授は1979年に出版した「蔵王樹氷のすべて」で「樹氷(アイスモンスター) の分布を東北地方の一部の山岳地帯(八甲田・八幡平・蔵王・西吾妻)」としています。 1970年代になると北海道の樹氷(アイスモンスター)は消滅したことになります。

矢野勝俊教授は「検証・ヒトが招いた地球の危機」の中で「・・・蔵王山頂では1983年から1993年までの10年間で1.1-1.5 $^{\circ}$ 气温が上昇している・・・樹氷の下限高度が1980年代はじめは1500mであったものが1990年代はじめには1550mにまで50m上昇した・・・」ことを示されています。

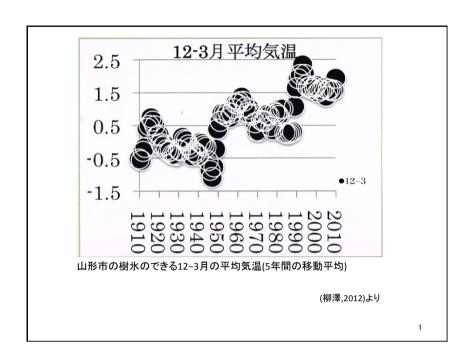
以上から、1950年代初めまでは北海道から長野(志賀高原・菅平)まで、1960年代に入ると北海道から山形まで、1970年代以降は東北地方の一部の山岳地帯(八甲田・八幡平・蔵王・西吾妻)となったと考えられます(一部を別添資料に示しました)。なお、現在のアイスモンスター(樹氷)の下限高度は、八甲田1300m、八幡平1400m、蔵王1550-1600m、西吾妻1700mです。なお、2011年の厳冬の際は志賀高原・菅平の2200m以上でアイスモンスター(樹氷)が見られました。

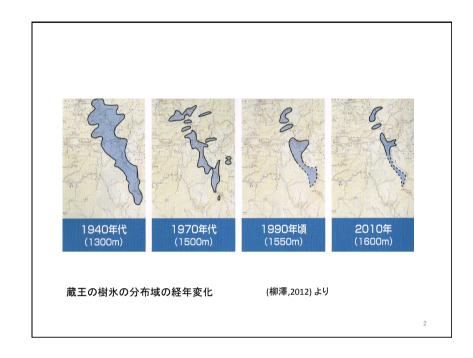
● 樹氷 (アイスモンスター) の今後について**

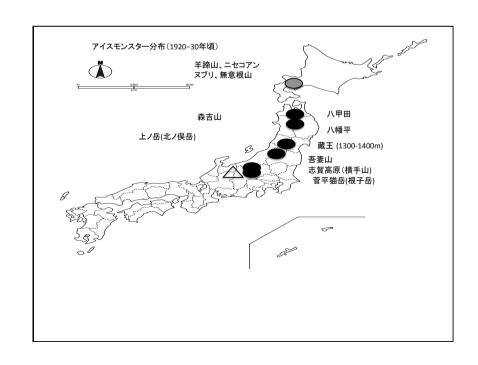
樹氷(アイスモンスター)ができる下限高度が50m上昇した場合(気温が約1℃上昇) は蔵王以外はかなりきびしい状況になり、100m上昇した場合(気温が約2℃上昇)場合は 蔵王以外は消滅、150m上昇した場合(気温が約3℃上昇)は全て消滅となります。

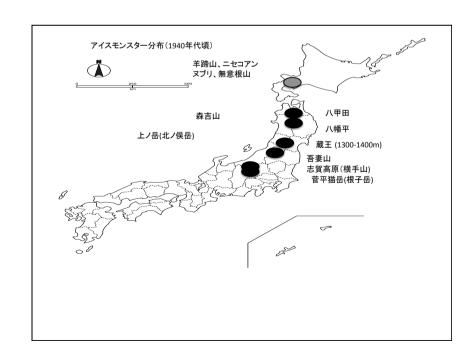
- *1923年のアルプスの上ノ岳(北ノ俣岳)2600m付近で「樹氷状凍雪(しみゆき)」と記載の写真が残されていますが、判断できませんでした。
- **上山城では2018年1月20日から2月4日まで樹氷展が行われ、21日にはアイスモンスターへの温暖化影響のギャラリートークが予定されています。また、上山図書館では1月5日から28日まで樹氷展が行われ、登高行とその後に関する展示が予定されております。

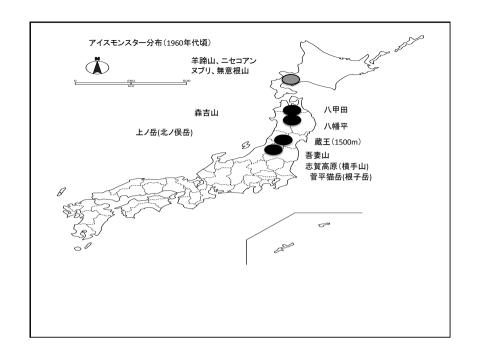
(お問合せ先) 山形大学 学術研究院(地球化学・環境化学) 山形大学認定研究所 蔵王樹氷火山総合研究所 教授 柳澤文孝 電話 023-628-4648

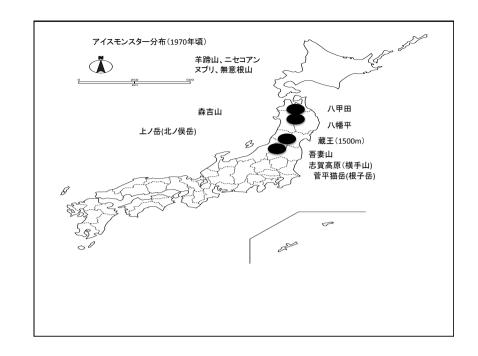


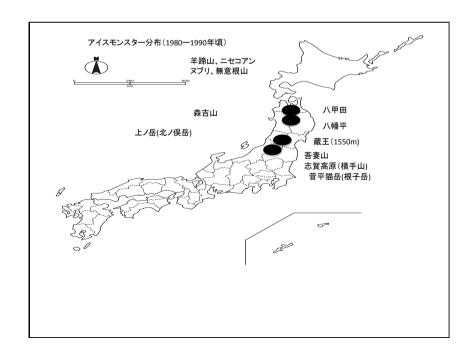


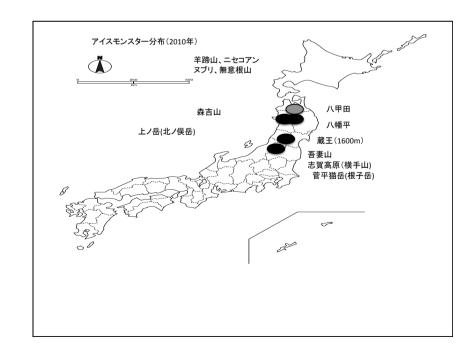


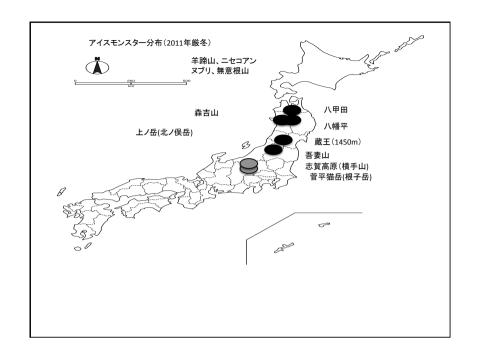


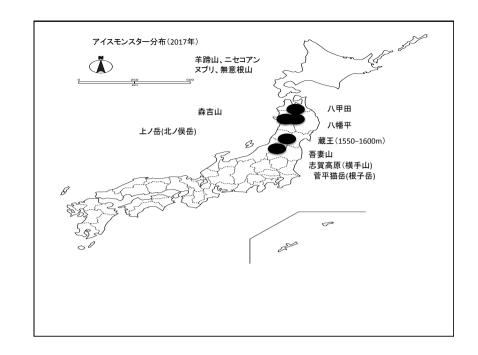


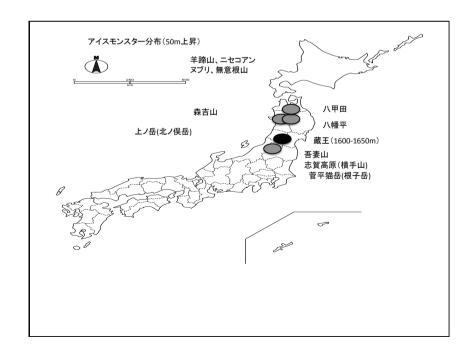


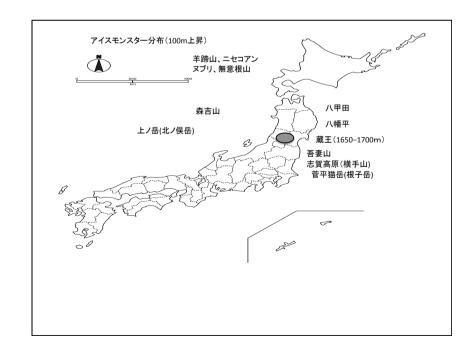














平成29年12月21日 山 形 大 学

初期の最上義光に関する史料集の再発見

山形県を代表する戦国大名、最上義光に関する最も早い時期の編年史料集の写本が附属博物館所蔵資料の中から見つかりました。米沢出身の郷土史家である伊佐早謙が編述した『新編最上義光事歴』3巻です。特別展「山形と沖縄をつないだ琉球漢詩文」のための所蔵資料調査がきっかけとなり見つかりました。

今回再発見された本書は、大正2(1913)年の義光公三百年記念市祭にあたり『最上義光公略伝』の執筆を依頼された伊佐早が、それ以前に編述した編年史料集『最上義光事歴』に新たな資料を加えて新編としたものと考えられます。伊佐早が編纂した『最上義光事歴』は、その当時から高く評価されましたが、長い間所在が不明となっていました。本書はその『最上義光事歴』の原本を伊佐早が編集し直したものであるという点でも貴重です。

●伊佐早 謙について

著者の伊佐早謙(安政4〜昭和5年:1858〜1930)は米沢藩士の出身で、 最初の『山形県史』(大正9(1920)年)の編纂主任を担ったことにも知られるように近代山形最初の郷土史家です。

●『最上義光事歴』とは

明治末から大正初年ころに伊佐早が史料集としてまとめたと考えられます。大正2年の義光祭で出版された『最上義光公略伝』(最上義光公三百年記念市祭協賛会)の中に初めてその書名が見えます。また、昭和13(1938)年に作成された『林泉文庫寄贈書及書目』に、「新編最上義光事歴 米沢伊佐早謙編纂 稿本 三冊」「最上義光事歴 伊佐早謙 写本 一巻三巻 二冊」と並んで記載されており、今回紹介する本書は、前者の写本と考えられます。

『最上義光事歴』の書名を載せる文献・日録

年	代	書名	編者•発行者		
大正2 (*	1913)	『最上義光公略伝』	最上義光公三百年記念市祭 協賛会		
大正4 (*	1915)	『編年西村山郡史』	西村山郡役所		
昭和13(1	1938)	『林泉文庫寄贈書及書目』	伊佐早信 編		
平成4 (*	1992)	『古文書近世史料目録』第14号	山形大学附属博物館 編		

●附属博物館所蔵『新編最上義光事歴』の内容

最上義光が家督を継いだ永禄13・元亀元(1570)年、義光の立石寺への立願からはじまり、元和8(1622)年に改易された時から、寛永8(1631)年に義俊(義光の孫)が26歳で死去し、義智(義俊の嫡子)が後嗣するところまでを記

述し、編年体で関係資料を網羅したものです。

年次毎に、関係する記録、覚書、系図、軍記物、古文書等を収載し、年次の末尾に 「按」として、伊佐早の按語(考察)を入れています。

●附属博物館所蔵『新編最上義光事歴』からわかること

『最上義光事歴』と『新編最上義光事歴』はいずれも未刊行で、現在ではその存在 すら忘れ去られていましたが、約百年前の最上義光研究の実証的に高いレベルを知る ことができ、研究史上意義があります。また、現在でもなかなか見ることができない 義光に関係する記録・覚書・古文書等の資料を網羅しており、編年史料集としての価 値があります。

伊佐早が引用した記述と現存する資料との異同関係や『<u>最上義光事歴</u>』・『<u>新編最</u> 上義光事歴』原本の所在を確認することが、今後の課題です。

●資料公開

平成29年12月20日(水)から平成30年1月30日(火)まで附属博物館歴 史コーナーにて展示します。

(お問合せ先)山形大学附属博物館電話 023-628-4930

初期の最上義光に関する史料集の再発見



所蔵:山形大学附属博物館

新編最上義光事歷卷之一

画學派





平成29年12月21日 山 形 大 学

データ関連人材育成プログラムin山形大学 始動! 「基礎から学ぶBIG DATA解析実習」を開催

文部科学省平成29年度「データ関連人材育成プログラム」[※]に、早稲田大学を代表機関とし、国内外の産官学金融各界から24参画機関、12連携機関で構成する「高度データ関連人材育成コンソーシアム」が採択され、事業が進められています。山形大学は、同プログラムに、地域活性化の中核となる参画機関の一つとして加盟しており、高度データ関連人材の活躍を促進し、データ利活用社会のエコシステム構築へ貢献しています。このたび、本学における同プログラムの第1弾として、平成30年1月27日(土)に「基礎から学ぶBIG DATA解析実習」を開催します。

◎地域と共に学生が成長する大学に!

BIG DATA, AI, IoT, ICT, FinTechなど、現代社会は、技術革新に向けた大きな転換点に差し掛かっています。地域においても、この大きな動きに対応するため、地域企業、山形県、大学が強く連携して、学生及び県内社会人を対象とした人材育成を進めることが必要です。大学を地域に開放することで、学生が地域と共に成長する新しい大学の形を目指していきます。

データ関連人材育成プログラムは、代表機関と参画機関から成るコンソーシアム運営協議会により運営され、連携機関の協力のもと、博士課程学生とポスドクのデータ関連スキルを強化しつつ、Society5.0の核となる先端技術開発や融合ビジネスの現場などに人材輩出するため、協賛金等を活用した自立可能なスキームを確立することを目的としています。

そこで、「データ関連人材育成プログラムin山形大学」においても、博士課程学生や将来の博士課程学生候補である学部生・大学院生にキャリアモデルとなる社会人を巻き込んだカリキュラムを提供します。学部生・大学院生・社会人が協働作業を行い、共に刺激し合うことで、山形県全体に大きなイノベーションを生み出すきっかけになる事を期待しています。その第1弾として、以下の集中講義を開催します。

【開催概要】

日 時:平成30年1月27日(土)9:00-17:00

講 師: 小林 佳和 氏

(山形大学客員教授、日本電気株式会社ビジネスクリエイション本部技術主幹)

会 場: 小白川キャンパス 地域教育文化学部1号館3階(情報処理実習室)

定 員:30名

对 象:社会人、大学生、大学院生

受講料: 8, 000円 (テキスト代込) ※山形大学学部生、大学院生は無料

(お問合せ先)

山形大学理学部 副学部長 脇 克志 電話 023-628-4637

023-628-4502(理学部総務担当)

※データ関連人材育成プログラムとは

日本が第4次産業革命を勝ち抜く上で求められるデータ関連技術(AI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ等)を高度に駆使する人材(高度データ関連人材)を発掘し、関連する知識・スキルの習得に加えて、キャリア開発までを一貫して行う取組を支援し、高度データ関連人材の活躍を促進し、データ利活用社会のエコシステム構築への貢献を目指しています。

本事業の特徴は、①研究活動を通じて高度なデータの扱いに親しんだ博士課程学生や博士号取得者等(博士人材等)を対象とし、②企業や大学等が人材の発掘・育成・活躍促進を目的としたコンソーシアムを形成、③インターンシップやPBL(課題解決型学習)等の実践的な研修プログラムを開発・実施することです。(プログラム採択については、平成29年9月7日の学長定例記者会見で発表済み)

詳しくは、文部科学省のホームページをご覧ください。 http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/data/index.htm



 $9:00\sim17:00$

基礎から学ぶ

BIG

@山形大学 小白川キャンパス

詳細は裏面の構内図を ご覧ください

データ関連人材育成プログラム in 山形大学

- ・市場が求める高度データ関連人材を知る AI、BigDATA、IoT等を高度に使いまわす実践的人材。 その中のBigDATAを今回掘り下げる)
- BigDATAで事業を改革する 市場での活用事例の紹介
- BIツールを用いたDATA可視化力をつける (↑今回はマイクロソフト PowerBI)
- データから相関ではなく 因果関係を見出す技術 実データ活用力
- ・業務革新(共創)への展開

情報は生成だけでなく、使われて、効果を発揮。 WebJラボSkypeFroBusiness等を利用

申込締切 平成30年1月15日(月)

▲お申し込み方法

実習

の内容

本学で用意します

- 以下のURLまたはQRコードからお申込み ください。
 - *受講決定次第、参加証を郵送いたします





解析実習

小林 佳和 B

主な現職

山形大学 客員教授 日本電気株式会社

<mark>ビジネスクリエイ</mark>ション本部技術主幹 **S**麻

山型大学を卒業しNECに入社。CTI統合配線での世界初のLAN線だけでの電話とデータ通信統合、業界初のMS-Office連携テレフォニーシステム、など、開発の

クラウド戦略室などの勤務をへて、現在 に至る。 「高速 LAN構築実戦テクニック」など

- ▲定 員 30名
- ▲対 象 社会人、大学生、大学院生

著書多数。

▲受講料(テキスト代込) 8,000円 ※山形大学学部生、大学院生は無料

URL: https://www.sci.yamagata-u.ac.jp/news/event/bigdata/

▲お問い合わせ 山形大学小白川キャンパス事務部 理学部事務室 TEL 023-628-4501 E-mail risoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

基礎から学ぶ

BIG DATA 解析実習

データ関連人材育成プログラム in 山形大学

▲受講料のお支払いについて

受講料は、下記口座に申込締切日までにお振込みください。

<<振込先>>

山形銀行 本店営業部 普通預金 0058645 口座名義人 山形大学

※振込手数料は、受講者ご負担でお願いいたします。

▲「データ関連人材育成プログラム」とは…?

高度データ関連人材となり得る人材を発掘し、関連する知識・スキルの習得に加えて、キャリア開発までを一貫して行う取組を支援する文部科学省のプログラムです。

高度データ関連人材の活躍を促進し、データ利活 用社会のエコシステム構築への貢献を目指します。

▲会場案内

山形大学小白川キャンパス 地域教育文化学部 1号館3F 情報処理実習室

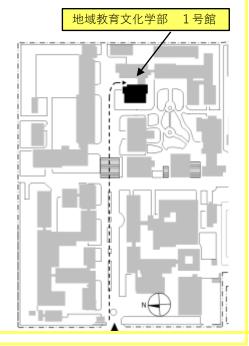
アクセス:JR山形駅から

東方へ約2km (徒歩約25分)

ベニちゃんバス「東くるりん 東原町先回りコース」で「山大前」 下車(所要時間約9分)

市内路線バス「県庁前・県庁北口」行きで「南高前・山大入口」 下車(所要時間約6分)、そこから徒歩約7分

※当日は、駐車場がございませんので、公共交通機関を ご利用ください。





平成29年12月21日山 形 大 学

もっと知って! 伝統野菜「おじいおばぁの郷土飯 雪菜イベントvol.3」

「山形大学と交流する会」の学生交流コーディネーターは、偏りがちな学生の食生活への関心向上・改善、米沢の伝統野菜である雪菜の周知を目的に農家のみなさん方と一緒に、3年前から「おじぃおばぁの郷土飯」として雪菜をテーマとしたイベントを実施してきました。第3弾となる今年の「雪菜イベント」は米沢栄養大学の学生にも協力をいただき、雪菜を使ったオリジナルレシピを開発しました。より多くの方に知っていただくため、レシピを紹介するイベントを企画しました。

【おじぃおばぁの郷土飯 雪菜イベント とは】

「山形大学と交流する会」の学生交流コーディネーターは偏りがちな学生の食生活への関心向上・ 改善、米沢の伝統野菜である雪菜の周知を目的に農家の方から畑を借りて農作物の栽培や調理・会食を 通して地域の方々と交流を図るイベントを3年前から実施してきました。昨年は農家の方からの協力で 畑をお借りして農作物の植え付けから栽培までを体験しました。

今年度はより多くの人に雪菜を知って頂くため、レシピデザイナーとして米沢栄養大学の学生の協力 を得て、2つのイベントを企画しました。

【レセプション】

内容:レシピデザイナーと協力し考案したレシピをCafe吾妻にてお披露目・会食します。

日時: 平成30年1月15日(月) 17: 30~20; 30 場所: Cafe吾妻申し込み: https://goo.gl/forms/yCDI4Bg6lEkEyht83 から申し込み

費用: ¥2,500~¥3,000程度(料理内容によって変更あり)



【雪菜イベント vol.3】

内容:米沢市内の学生、農家・地域の方々を交えて、雪菜を始めとした伝統野菜を使ったレシピの調理・会食を通して交流を図ります。また、考案したレシピの紹介や米沢の食に関する魅力的なモノとその場所がひと目でわかるような地図を参加者の皆さんと作成するワークショップFood Mappingも実施予定です。

日時:平成30年1月27日(土)10:00~ 場所:愛宕コミュニティセンター申し込み:準備ができ次第Facebookページ等で公開するURLより申し込み

費用: ¥1,000程度

Facebookページ: https://www.facebook.com/kouryusurukai/

【山形大学と交流する会 学生交流コーディネーターとは】

「山形大学と交流する会」は、山形大学における研究の発展と人材の育成を支援するとともに、会員企業様と山形大学の職員及び学生との交流を推進することによって、地域の活性化等に寄与することを目的としています。その交流を行うために、学生コーディネーター(学生AA(アドミニストレイティブアシスタント))を採用し、様々な活動を自ら企画し、実施することにより地域の活性化の一環を担っています。

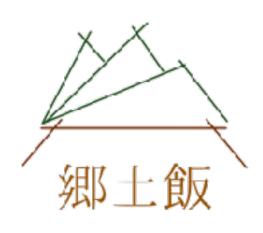
(お問合せ先) エンロール・マネジメント部 社会連携課 東海林 電話 023-628-4843

おじいおばぁの郷土飯 vol.3 雪菜イベント

山形大学と交流する会

目次

- 山形大学と交流する会について
- 学生AA とは
- おじいおばぁの郷土飯 雪菜イベントの目的
- これまでの雪菜イベント
- 今年度の取り組み



山形大学と交流する会とは

- 平成22年、地域の活性化と会員企業及び山形大学の発展に寄与することを目的として発会
- 会員企業様からは年会費を頂き、学生への奨学金へと使用



学生AAとは

- 山形大学と交流 する会の学生AA (Administrative Assistant)
- 地域企業と学生の交流を中心とした活動 (メルマガ配信、総会での活動報告、企業懇談会、OB・OGセミナー)
- 各キャンパスでの学生と学生、学生と地域を結ぶイベントの企画 (交流する会の交流会、演習林イベント、雪菜イベント)



イベントを 0から企画し、予算の設定・イベント告知・開催までを行い、主体的な活動を展開

おじいおばぁの郷土飯

目的

- 1.学生の偏りがちな食生活への関心向上・改善
- 2.米沢の伝統野菜である雪菜の周知
- 3.農家や地域の方々、学生の交流を通してそれぞれの価値観へのブレイクスルーを与える
- 4.一昨年からのイベントの継続、及び地域の方々・学生とのより交流の継続
- 5.最終的に参加者が米沢の魅力の発信者になる

これまでの雪菜イベント

雪菜イベント vol.1~2

- 雪菜の収穫体験
- 畑を借りて植え付けから収穫
- 伝統野菜を用いた調理・会食



今年の取り組み

目的の達成度

- ✓ 学生の偏りがちな食生活への関心向上・改善
- ✓ 米沢の伝統野菜である雪菜の周知
- √ 農家や地域の方々、学生の交流を通してそれぞれの価値観へのブレイクスルーを与える
- √ 一昨年からのイベントの継続、及び地域の方々・学生とのより交流の継続
 - → 最終的に参加者が米沢の魅力の発信者になる

魅力を発信するには…





SNSの利用≠魅力の発信

出来るだけ多くの人に雪菜を食べてもらい食べた人が他の人に口コミして始めて魅力の発信になるのではないか

レシピデザイナー

米沢栄養大学の8名の学生をレシピデザイナーとして迎え入れ、協力してオリジナルレシピを考案



レシピの期間限定提供

学生をレシピのターゲットに、「栄養大生考案!!栄養満点あったか雪菜メニュー」をコンセプトとして設定考案したレシピを山形大学 工学部キャンパス内にあるCafe吾妻さんで2月29日(月)~1月9日(金)期間限定提供の実現に向けて取り組んでいる。

イベント予定

• レセプション

日時:1月15日(月) @Cafe吾妻

17:30~20:30

内容:考案したレシピのお披露目・会食

リストランテ喜右ェ門 我妻さんとのトークセッション

費用: ¥3,000程度(料理内容によって変更あり)

→ PR大使でもあるリストランテ喜右ェ門 我妻喜一さんをゲストスピーカーとして迎え 「食×○○」をメインテーマに学生とトークセッションを実施予定

• 雪菜イベント

日時:1月27日(土) @愛宕コミュニティーセンター 学生 9:00~16:00

一般参加者 11:00~16:00

内容:参加学生と雪菜の調理

地域の方々との交流会(ワークショップ、会食)

費用:¥1,000程度

→ワークショップ

米沢の食にまつわる魅力的なモノやトコロが ひと目で分かる地図を作成するFood Mappingの実施

申し込み:チラシ記載のURL(QRコード)から申し込み

またはチラシ裏面欄に必要事項を記入の上郵送

山形大学と交流する会 Facebookページ



URL: https://www.facebook.com/kouryusurukai/





おじいおばぁの郷土飯

山形大学と交流する会の学生AAでは3年前から学生の食生活への関心向上・改善、米沢の伝統野菜である雪菜の周知も主な目的として農作物の栽培、調理・会食を通して学生と地域の方々との交流を図る「おじぃおばぁの郷土飯」を実施してきました。今年度はレシピデザイナーとして米沢栄養大学の学生の協力を得て雪菜を使用したオリジナルレシピを考案しました。

レセプション

内容

PAG レシピデザイナーが考案したレシピ「栄養大生考案!!栄養満点あったか雪菜メニュー」のお披露目、伝統野菜のPR大使でもあるリストランテ喜右エ門 オーナーシェフ我妻喜一さんをゲストスピーカーとしてお迎えして「食×○○」をテーマに学生とのトークセッションも実施予定です。

日時

1月15日(月) 17:30~20:30 @Cafe吾妻

費用 ¥3,000 (料理内容によって変更の可能性あり)

申し込み

1月10日〆切

QRコードからフォームへアクセスし、必要事項を記入の上送信。または裏面記載の申込用紙に記入の上問い合わせ先まで郵送。



雪菜イベント vol.3

内容

米沢の学生、農家・地域の方々を交え、伝統野菜を使用したレシピの調理・会食を通して交流を図ります。また、米沢の食にまつわる魅力的なモノと場所が一目で分かる地図を作成するFood Mappingも実施します。

日時 1月27日(土)

学生:9:00~16:00 一般参加者:11:00~16:00 @愛宕コミュニティセンター

費用 ¥1,000 (料理内容によって変更の可能性あり)

申し込み

1月20日〆切

QRコードからフォームへアクセスし、必要事項を記入の 上送信。または裏面の申込用紙に記入の上問い合わせ先へ 郵送

問い合わせ

山形大学と交流する会事務局 Mail: <u>aainyonezawa@gmail.com</u>

Facebookページ:

https://www.facebook.com/kouryusurukai/Adress:

7taress. 〒990-8560 山形市小白川町1−4−12



申込書

申込イベント (参加する方に○)	氏名	ふりがな	メールアドレス	所属	送迎希望の有無 (雪菜イベントのみ)	送迎希望場所 (希望する場所に○)
(\$/JH / \$/J /CO)					, , , ,	山形大学前
レセプション					有り	米沢栄養大学前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
雪菜イベント					無し	米沢駅前
						その他
						山形大学前
レセプション					有り	米沢栄養大学前
雪菜イベント					無し	米沢駅前
						その他
						山形大学前
レセプション					有り	米沢栄養大学前
雪菜イベント					無し	米沢駅前
						その他
						山形大学前
レセプション					有り	米沢栄養大学前
雪菜イベント					無し	米沢駅前
						その他
						山形大学前
レセプション					有り	米沢栄養大学前
雪菜イベント					無し	米沢駅前
						その他

プレス発表資料



平成29年12月21日 山 形 大 学

~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~「地域人材コース」に採択

文部科学省が実施する「平成30年度官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学 JAPAN日本代表プログラム~『地域人材コース』」に、山形大学も参画するやまがた グローカル人材育成推進協議会と山形県が申請を行いました、「やまがたの未来を切り 開くグローカル人材育成プログラム」が採択されました。今回は本件を含む3件が採択されています。

山形県内高等教育機関(山形大学・鶴岡工業高等専門学校・東北文教大学)、地元企業・団体(21社)、山形県の産官学が一体となり、実践的な海外インターンシップと、その前後に県内企業などで行うインターンシップを組み合わせる3つのインターンシップを実施し、国際的な視野を持って地域の問題をとらえることができる「高度グローカル人材」の育成を目指します。

■「やまがたの未来を切り開くグローカル人材育成プログラム」

魅力ある山形県を活力のある山形県にするためには、主要な産業の「農業」の活性化、 「ものづくり産業」の活性化、地域・まちづくりでの活性化が不可欠です。

本事業では山形県全体のグローバル化を推進するため、以下のような人材を育成します。

- 1. 山形県の農業・農産物の海外展開に寄与できる人材
- 2. 山形県のものづくり産業のグローバル化に寄与できる人材
- 3. 山形県の経済、行政、学校教育などの面での国際化に対して俯瞰的に貢献できる人材

これらの人材を育成するため、山形県内の高等教育機関に在籍する学生が、食・農業海外展開コース、ものづくり海外展開コース、地域国際化コースの中から一つのコースを選択し、地域での事前インターンシップ、海外でのインターンシップ、及び帰国後の地域でのインターンシップの3つのインターンシップを中心にしたプログラムを実施します。

- ・事業実施体制:山形県、県内企業・団体(21社)と山形大学、鶴岡工業高等専門学校、東北文教大学などの県内高等教育機関が連携して実施。「やまがたグローカル人材育成推進協議会」を設立(予定)。
- 事業実施期間: 平成30年度~平成32年度
- 事業予算:6,000千円(県内企業等から、3,000千円、学生支援機構から 3,000千円)/年(予定)

〈参考〉

官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~「地域人材コース」平成30年度 採択地域の決定について(文部科学省ホームページ)

(http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/tobitate/1399547.htm)

トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラムについて

(http://www.tobitate.mext.go.jp/program/index.html)

トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム「地域人材コース」について (http://www.tobitate.mext.go.jp/program/region/index.html)

(お問合せ先) 教育・学生支援部 国際交流課 今野 電話 023-628-4118



トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム 「地域人材コース」の概要について



「地域人材コース」創設の背景

全国の地域を含めたALL JAPAN体制で日本の「グローバル化」を促進したい

日本の「**地域活性**」を担う 将来の優れたリーダーを 地域とともに創出したい

その舞台として よりリアルな学びのある **「地域」**を活用したい



留学だけじゃない! 地域の特徴を活かした プログラム。

POINT 2

「地域」が主体となって 運営! 「海外での実践的な留学」と「国内の地域企業等でのインターンシップ」を組み合わせた、地域人材コース独自のプログラム

地域(都道府県、政令指定都市または中核市)の 産学官が連携し、プログラムの企画・運営、派遣留学生 の募集・選考を実施

 POINT 3

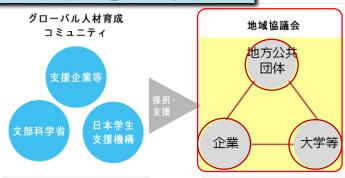
 地域を知る・学タ機会が 盛りだくさん!

地域企業等でのインターンシップに加え、留学前後に地域独自のオリエンテーションや報告会も



「日本代表プログラム」のコミュニティ・事前事後研修 (東京・大阪)などにも参加

「地域事業」の全体像



派遣留学生 選考・ 支援

プログラム 海外留学 ・ 地域での インターン シップ

地域企業の支援で留学し、 さらに「地域で働く」を 体験することで、地域への

「縁と恩」を醸成

グローカル人材の育成

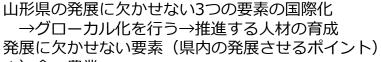
※グローカル人材とは: 「グローバル」と「ローカル」な視点を併せ持つ人材

- ■地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材を育成すること
- そこで輩出されたリーダーが地域に貢献することで、人材育成と貢献の 循環が出来上がること

トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム「地域人材コース」 「山形の未来を切り開くグローカル人材育成プログラム」

これまでの地域の問題点

- ○山形県→農業、産業、自治体・公共団体の国際化が進んでいない
- →外国から見たときの魅力が低い
- ○人口減少→年間1万人ずつ減少:10年後には100万人を切る 減少率は全国4位
- ○山形県内大学の卒業生が定着率が低い→25%以下(山大)



- 1)食・農業
- 2) ものづくり産業

に加えて、さらなる次世代に向けたグローカル人材の 輩出には

3) 公務員や教員及び企業の国際化

<u>これらの要請に応えるために・・・</u>

山形からトビタテ!未来を切り開くグローカル人材育成

特徴

- ☆国内+海外+国内の<u>インターンシップ</u>(Tripleインターン)
- (事前: □ーカル 2週間) → (海外インターンシップ 1ヶ月半) → (事後: □ーカル 2週間)
- ☆企業と学生の間のインターンシップを介したマッチング
- ☆これらの事業により山形県を地域創生させ、農業・産業活性化し国際化→地域の魅力向上!

目標

- ○ローカルが抱えるグローバルの問題を「グローカルの観点」からを解決できる「高度グローカル人材の育成」
- ○地場産業・農業に関心ある「高度グローカル人材」による地域創生
- ○魅力ある地域を創りたいと思えるようになる「地域魅力の再確認」した人材
 - →自治体、地方公共団体、学校などで、次世代の「グローカル人材」の育成→<u>循環型にして継続</u>する仕組み

3つの要素

(1)食・農業海外展開コース

山形県の農業・農産物の海外展開に寄与できる人材

(想定派遣先) アジア地域の大学など

(2)ものづくり海外展開コース

山形県のものづくり産業のグローバル化に寄与できる人材

(想定派遣先)大学、地域インターンシップを行う企業の現地事業所、グローバル企業など

(3)地域国際化コース

山形県の経済、行政、学校教育などの面での国際化に対して俯瞰的に貢献できる人材

(想定派遣先) タイなどの海外の高校、県内企業、団体の現地事務所、大学など

プレス通知資料(概要)



平成29年12月21日 山 形 大 学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 平成30年度大学入試センター試験の取材について

平成30年1月13日(土)、14日(日)の2日間で実施される大学入試センター試験の取材につきましては、資料をご確認いただき、取材を希望される場合は、期限までに各試験場担当者にご連絡ください。

2. 山形大学造形芸術コース グループ絵画展を開催します

地域教育文化学部創造芸術コース・文化創生コース、大学院地域教育文化研究科文化創造専攻の 学生たちによる展示会を開催します。

期 間:平成30年1月19日(金)~2月20日(火) 場 所:最上川美術館・真下慶治記念館 企画展示室

入館料:大人300円、小・中学生150円

3. 農学部研究シーズ説明会・ビジネスマッチの開催について

日 時:平成30年1月30日(火)

13:30~14:30 (研究シーズ説明会)

14:35~17:10 (ビジネスマッチ) ※要事前予約

会 場:農学部会議室

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎ 教育セミナー「山形での学びを通じたモンゴルでの教育再生」を開催します

山形大学の卒業生でもある新モンゴル学園理事長ジャンチブ・ガルバドラッハ氏をお迎えし、教育セミナーを開催します。

日 時:平成29年12月22日(金)16時30分~17時30分

場 所:山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館112教室

※入場無料(要申込)

◎ 第8回多文化交流コンサート「山形から世界へ」を開催します

山形大学に留学している学生たちが、自国の楽器や伝統舞踊を披露するコンサートを開催します。

日 時:平成30年1月7日(日)13時30分~

場 所:山形市市民会館 小ホール

入場料:前壳500円·当日800円(高校生以下無料)



平成29年12月21日 山 形 大 学

平成30年度大学入試センター試験の取材について 大学入試センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。 -

平成30年1月13日(土)、14日(日)の2日間で実施される大学入試センター試験の取材につきましては、別添「平成30年度大学入試センター試験の取材について」のとおりとします。試験の円滑な実施にご協力くださいますようお願いします。

- ◇ 取材される場合は所定の期限までに各試験場担当者に連絡願います。
- ◇ 小白川地区試験場での撮影取材に当たっては、次のことに特にご留意願います。
 - 1 1月13日(土) 9時5分からの試験室撮影取材をされる場合は、**理学部1号館** 1階ホールに8時55分(時間厳守)までにお集まり願います。
 - 2 車で入構される場合は、大学の南門から入り、所定の報道関係者駐車場(別紙小 白川地区試験場駐車場配置図を参照してください。)に駐車してください。 なお、大学正門は受験者入構のため、車等の乗り入れは禁止となっております。

(お問い合わせ先) エンロールメント・マネジメント部入試課 矢萩

電話 023(628)4142

平成30年度大学入試センター試験の取材について

- 大学入試センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。-

山 形 大 学

1 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の広報担当者が行いますので、試験に関する問い合わせ等については、エンロールメント・マネジメント部入試課長(☎023-628-4140(齲))へお願いします。

2 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。 取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示してください。

3 試験室内での撮影

- 試験室内での撮影は,1月13日(土)のみとし,試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行って ください。

- (1) 大学入試センター試験の撮影については、1月11日(木)正午(厳守)までに各試験場責任者の了承を得てください。
 - ・小白川地区試験場責任者 … 小白川キャンパス長 (連絡先:小白川キャンパス事務部教務課学務担当☎023-628-4405(顧))
 - ・工学部試験場責任者 … 米沢キャンパス長

(連絡先:米沢キャンパス事務部学務課入試担当☎0238-26-3013(顱))

- ・県立鶴岡中央高等学校試験場責任者 … 鶴岡キャンパス長 (連絡先:鶴岡キャンパス事務室学務担当 20235-28-2808(6 回)
- ・県立新庄神室産業高等学校試験場責任者 ··· 東北芸術工科大学入試部長 (連絡先:東北芸術工科大学入試課長☎ 023-627-2011(顧))
- (2) 1月13日(土)は、午前8時55分まで報道関係者控室等に集合してください。
- (3) 撮影は、試験場責任者が指定した試験室でのみ許可することとします。
- (4) 撮影時間は、午前9時5分から10分以内とします。 必ず午前9時15分には退室してください。
- (5) 撮影に当たっては、受験者に動揺を与えないよう注意するとともに、試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。
- (6) 受験者が特定できるような撮影は、絶対に避けてください。
- (7) 本学が指定する試験室以外の「試験室」及び「試験室のある建物」への立ち入りはできません。

4 障害等のある受験者の取材

障害等のある受験者の取材については、あらかじめ本人の了解を得る必要がありますので、試験場責任者の 指示に従ってください。

5 不測の事態発生時の取材について

不測の事態が発生して,試験が中止された場合などにおいても,必ず試験場責任者の指定する職員の指示に 従ってください。 6 当日の試験実施状況(※)は、以下の時間にエンロールメント・マネジメント部入試課から報道各社へ FAX 送信予定ですので、円滑な試験実施のため、試験時間中の問い合わせはご遠慮ください。 発表時間はあくまでも予定ですので、あらかじめご了承ください。

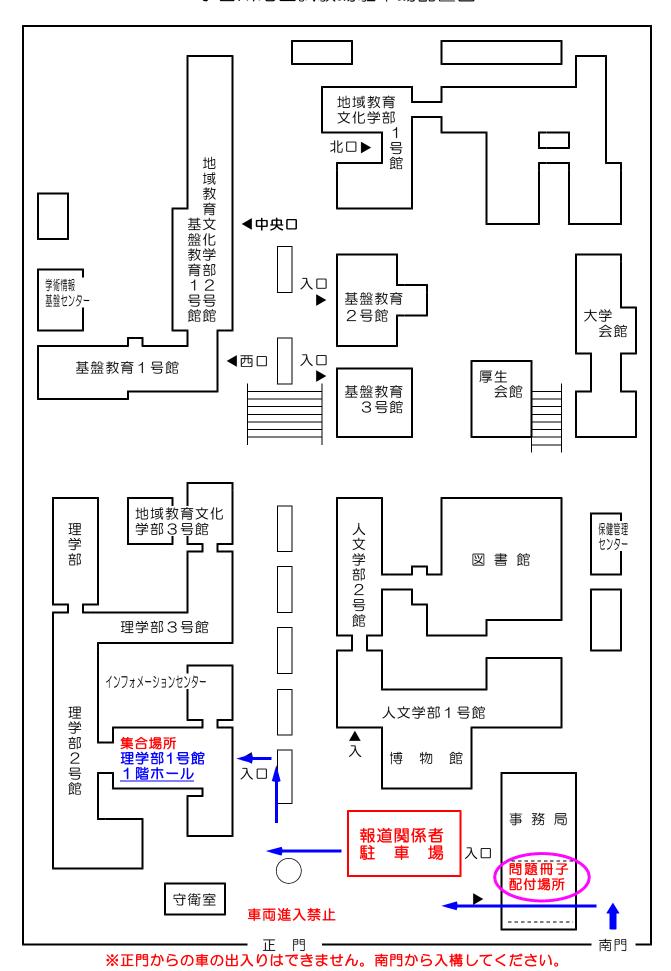
区分	1月13日 (土)				1月14	月 (日)		
科目	地理歴史,公民	国語	外国語 (筆記)	英語 (リスニング)	理科①	数学①	数学②	理科②
発表予定 時間	13:20 以降	16: 以		18:20 以降	13:20 以降	16:0 以降	-	17:55 以降

^(※) 志願者数, 欠席した者の人数, 受験した者の人数をお知らせします。

7 問題冊子及び科目別正解の発表

- (1) 問題冊子は、各試験時間終了後に各試験場で配付します。
- (2) 正解及び配点は、試験終了後、大学入試センターにおいて、大学入試センターのホームページを通じて発表します。

小白川地区試験場駐車場配置図











山形大学造形芸術コース

グループ絵画展

2018 1/19 金 -2/20 必





最上川美術館·真下慶治記念館 企画展示室



最上川美術館 真下慶治記念館

山形大学造形芸術コース

グループ絵画展

2018 1/19 @ -2/20 📎

最上川美術館·真下慶治記念館 企画展示室

ごあいさつ

このたび、最上川美術館・真下慶治記念館のご厚意により、山形大学大学院 地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野と山形大学地域教育文化学部造 形芸術コース・文化創生コースの学生による展示会を開催させていただくこと となりました。私たちのコースの前身である山形大学教育学部美術科で教鞭を 執られた真下慶治先生ゆかりの美術館で展覧会を開催できることは大変光栄な ことと思っております。

私たち造形芸術コース・文化創生コースの学生は、小林俊介先生をはじめとする先生方のご指導のもと、日々の授業や自主制作の中で自分らしい絵画表現を探究しています。本展覧会でもそれぞれの個性が感じられる作品を展示しております。ご覧になった皆さまの心に少しでも残れば幸いです。是非、ご覧の上、ご感想等をお聞かせください。

ギャラリートーク

1月20日(土) 13:30~

作品の制作意図や作品に込めた想いなどを作者が紹介します。是非お越し下さい。

出品者

山形大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野 1 年 本間かりん

山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科

造形芸術コース 4年 白林彩音、三浦真穂

3年 小野佳南、小山田真也、熊谷菜々、佐藤千尋、松浦春香

文化創生コース 1年 阿部瑞李、柴田彩加



計











研究シーズ

説明会・

ビジネスマッチ

平成30年1月30日(火)

【第1部 研究シーズ説明会】

農学部の研究シーズについて教員がわかりやすく説明します。

また、コーディネーターが産学官連携の具体的事例についてお話しします。

時間:13:30~14:30

会場:農学部会議室(1号館2階)

【第2部 ビジネスマッチ 】

教員との面談形式によりマッチングの可能性を探ります。

面談時間スケジュール ※要事前予約

1回目 2回目 3回目 4回目

14:35~15:10 15:15~15:50 15:55~16:30 16:35~17:10

※なお、上記日時以外でも、面談は可能です。お気軽にご相談ください。

研究シーズとは?

シーズとは seeds(種)のことで、"研究シーズ"とは新たな産業を生み出す種や芽となる研究、事業化が見込まれる開発研究のことを言います。農学部では日頃の研究成果を地域社会に発信するために『農学部研究シーズ集』を作成しておりますが、当日はその内容をよりわかりやすく教員が説明いたします。 農学部で行っている研究内容にご興味のある方、ビジネスパートナーとして相談できる教員を知りたい、という方々におかれましては、是非この機会をご利用ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お問い合わせ先:山形大学農学部企画広報室 TEL0235-28-2910 FAX0235-28-2836

E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

日 時: 平成 30 年 1 月 30 日 (火) 午後 1:30 開始

会 場:山形大学農学部(鶴岡市若葉町 1-23)

参加費:無料

参加ご希望の方は下記必要事項を FAX、E-mail または、お電話にてご連絡ください。

電話・FAX でお申し込みの方

メールでお申し込みの方

TEL0235-28-2910 FAX0235-28-2836 nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※ メールでのお申し込みの際には、件名に「研究シーズ 説明会申し込み」と記載願います。

参加申込書 申込締切/平成 30 年 1 月 19 日(金)

事業所等	
住所	〒
TEL/ FAX	
E-mail	
ご参加者名(役職名)	

第1部 研究シーズ説明会

参加します

参加しません

第2部 ビジネスマッチ

参加します

参加しません

※ ビジネスマッチに参加の方はご相談内容または面談希望教員などを記載願います。折り返し担当者より 連絡を差し上げ、面談時間を調整させていただきます。(シーズ説明会を聞いてからの面談お申し込みも 可能ですが、事前予約優先となりますことをご了承願います。)